ツキノワグマによる人身事故防止のために

秋にかけて、ハイキングや登山、キノコ採集などで山に入るとクマとの出会いがしらの事故が発生することがあります。
山に入るときは、次のことに充分ご注意ください。

山に入るときの注意事項

音の出るものを身につける
〔クマに人の存在を知らせる〕
・鈴やラジオを携帯する
・複数人で話をしながら行動する

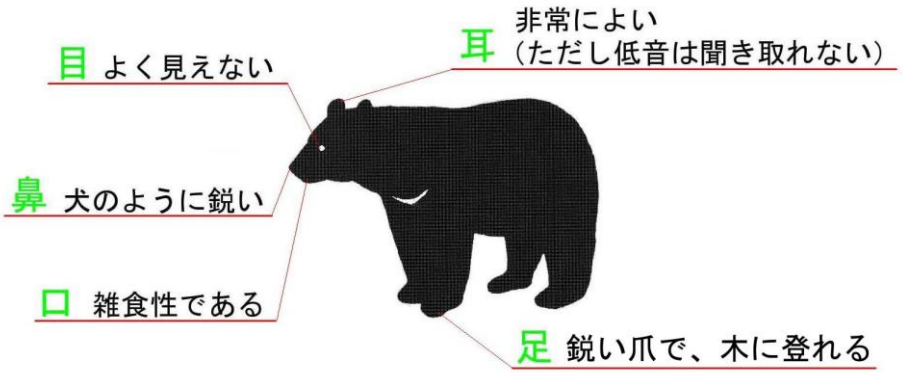
山野にゴミを捨てない
〔クマを執着させない〕
・弁当の残りや飲料水の容器は必ず持ち帰る

周囲の状況に気を払う
・山林内では周囲の状況にも充分注意する

子グマにも注意
・子グマでも大変危険
・母グマは本能的に子グマを守るため襲ってくることがある

それでも出会ってしまったときは
・クマを驚かせない
・クマに背を向けず、後ずさりして立ち去る

クマの生態特性



◆クマは嗅覚、聴覚が特に発達している。
◆子グマがいれば、近くに母グマがいる可能性が高い。
◆大柄で鈍そうに見えるが、山の中では人間よりも俊敏で、木に登ることもできる。
◆夜明け前、夕暮れ時など薄暗い時間帯に行動することが多い。

季節ごとの行動

春：冬眠から目覚める（４月上旬頃）
　　山菜などを食べる（５月頃）

夏：繁殖（交尾）をする（６～７月頃）
　　※このころクマの行動域が広くなる

秋：冬眠準備のため木の実・果樹などの食べ物を探し回る
　　※食べ物を求めて人里まで降りてくることあり（柿・栗等）

冬：穴の空いた木や、木の根本に穴を掘り、冬眠する
　　※一部のメスは、冬眠中に１～２頭出産する

クマを目撃した時は、最寄りの市町まで連絡願います。

兵庫県環境部自然鳥獣共生課、森林動物研究センター